

◆平成29年1年間の工事事故の状況◆

- ☆事故件数は「67件」とH28年と同件数。
- ☆第3四半期(7月～9月)に「24件」と工事事故が最も多く発生。
- ☆月別事故発生状況は、7月(4件→12件)、10月(5件→10件)、12月(3件→7件)に事故件数が増加。
- ☆時間帯別の工事事故発生状況では、午前は10時台、午後は13時台の事故件数が増加し、曜日別では火曜日が「15件」と事故件数が最多。
- ☆休業4日以上労働災害が「10件」発生。
- ☆死亡事故が1件発生。

◆平成30年の現場での安全な施工に向けて◆

- ☆例年1月～3月で20件前後の事故が発生。

⇒事故減少に向けて、更なる安全管理の徹底を！

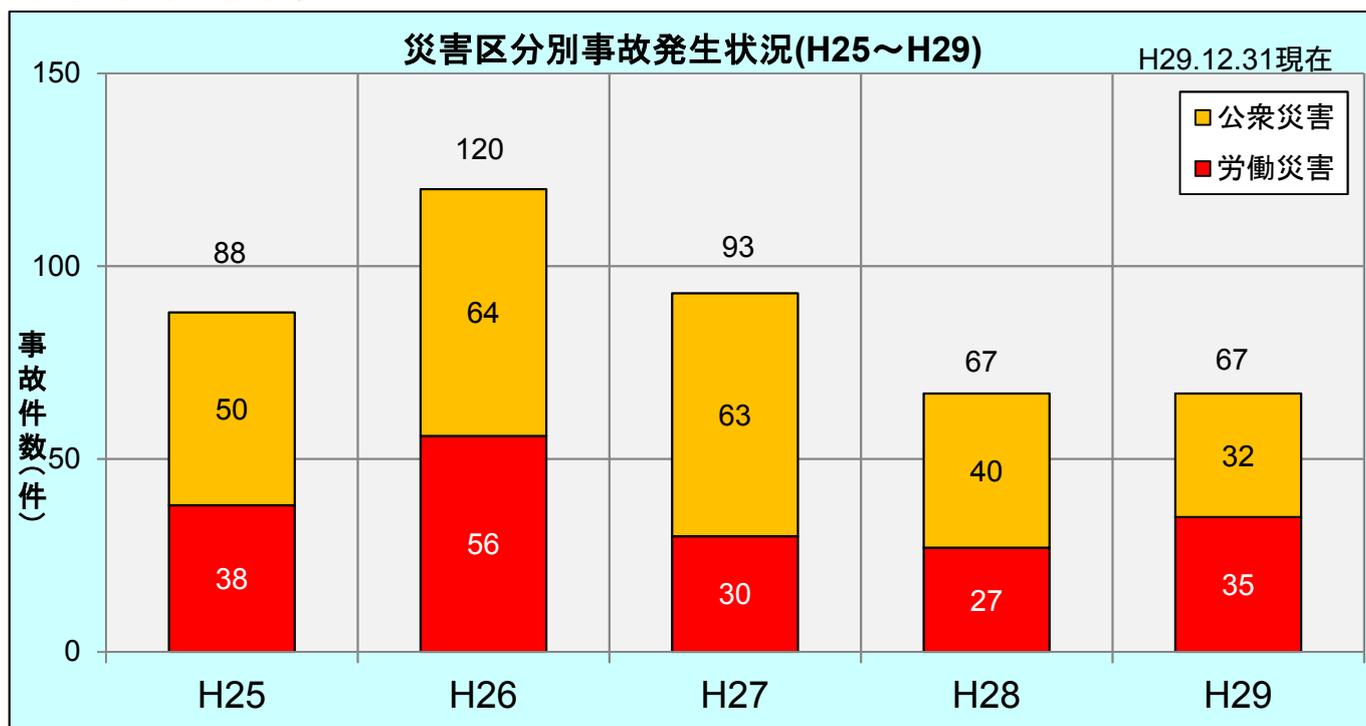
※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

1. 工事事故の発生状況

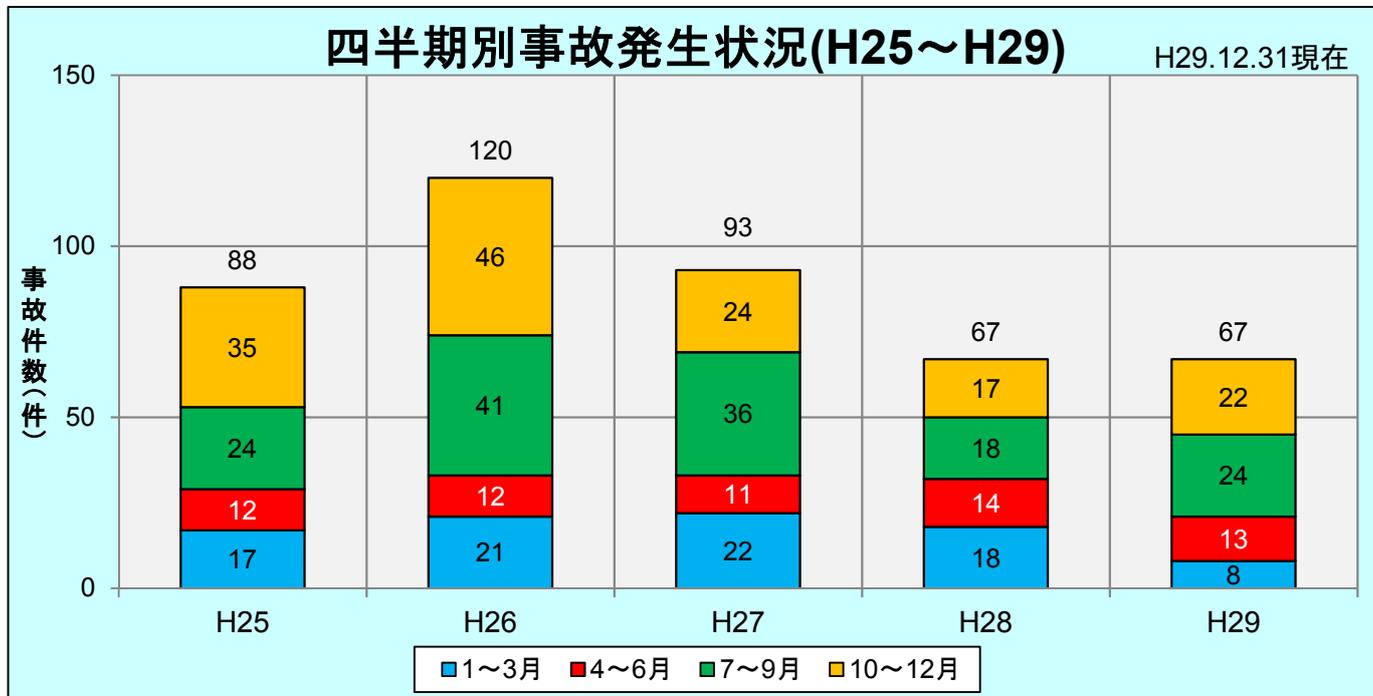
1) 各年の事故件数の推移

H29年の工事事故件数は67件と昨年と同数の事故件数となっています。労働災害は35件と、昨年から8件増加し、公衆災害は32件と昨年から8件減少しています。



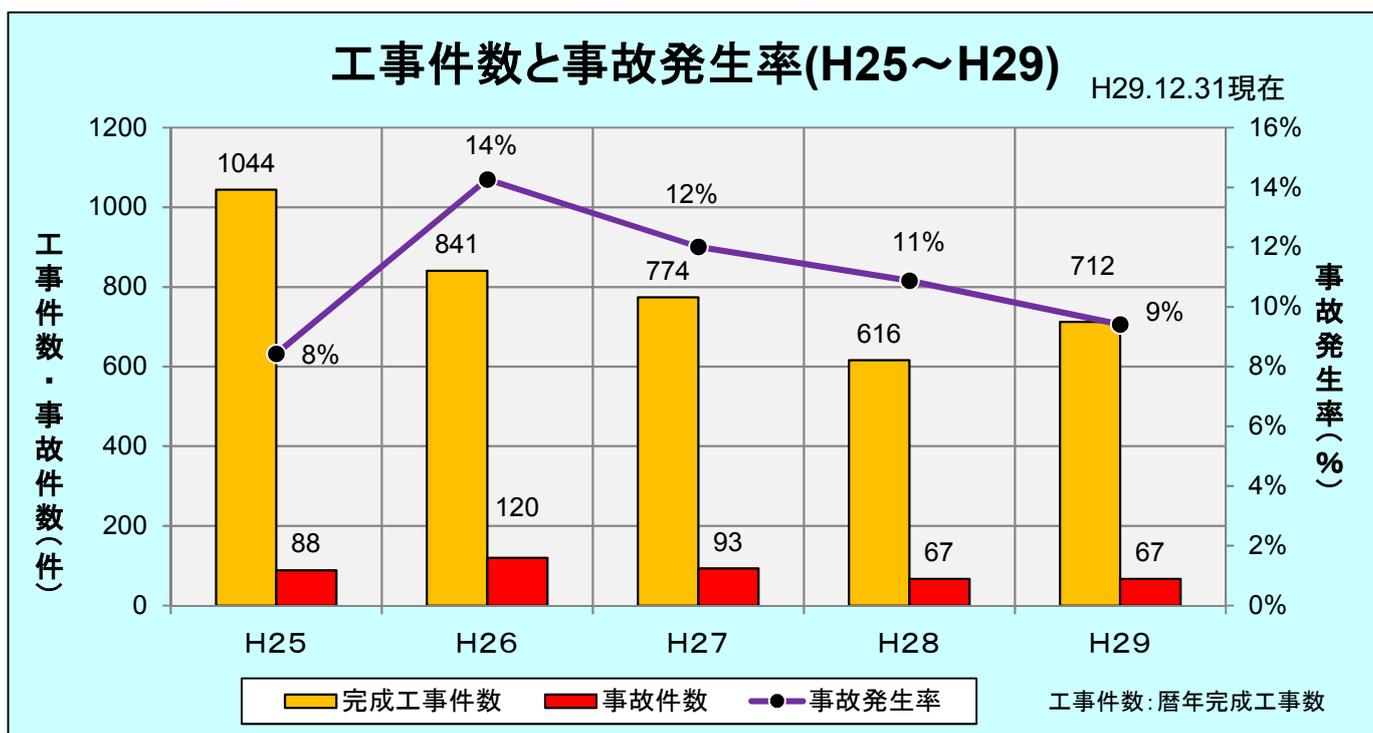
2) 四半期別の事故発生件数

四半期別事故発生件数を比較すると、H29年は1～3月は過去5年で最小となっており、7月～9月が昨年から6件増加、10月～12月が昨年から5件増加しています。



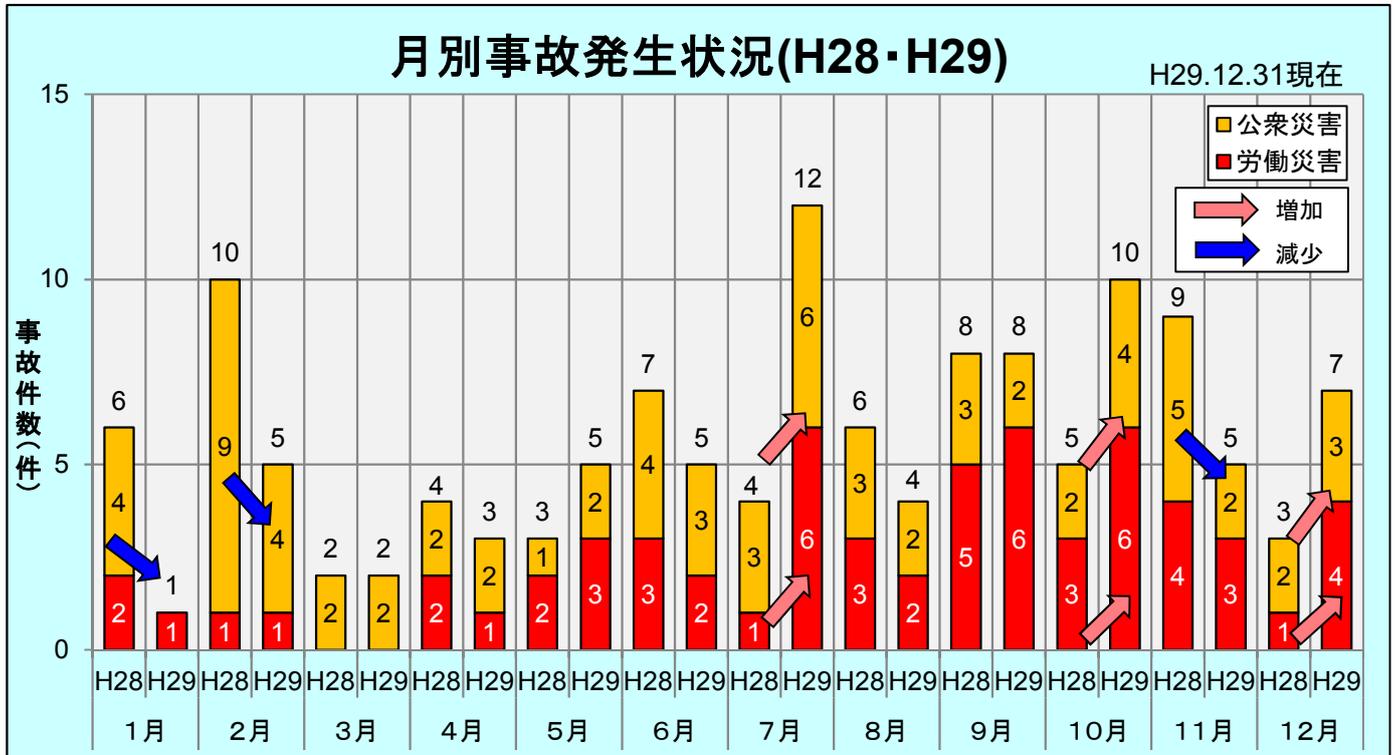
3) 各年の完成工事件数と事故発生件数

H26年以降、事故件数は減少傾向ですが、H29年の事故件数は昨年と同数の67件発生しています。事故発生率は9%程度となっています。



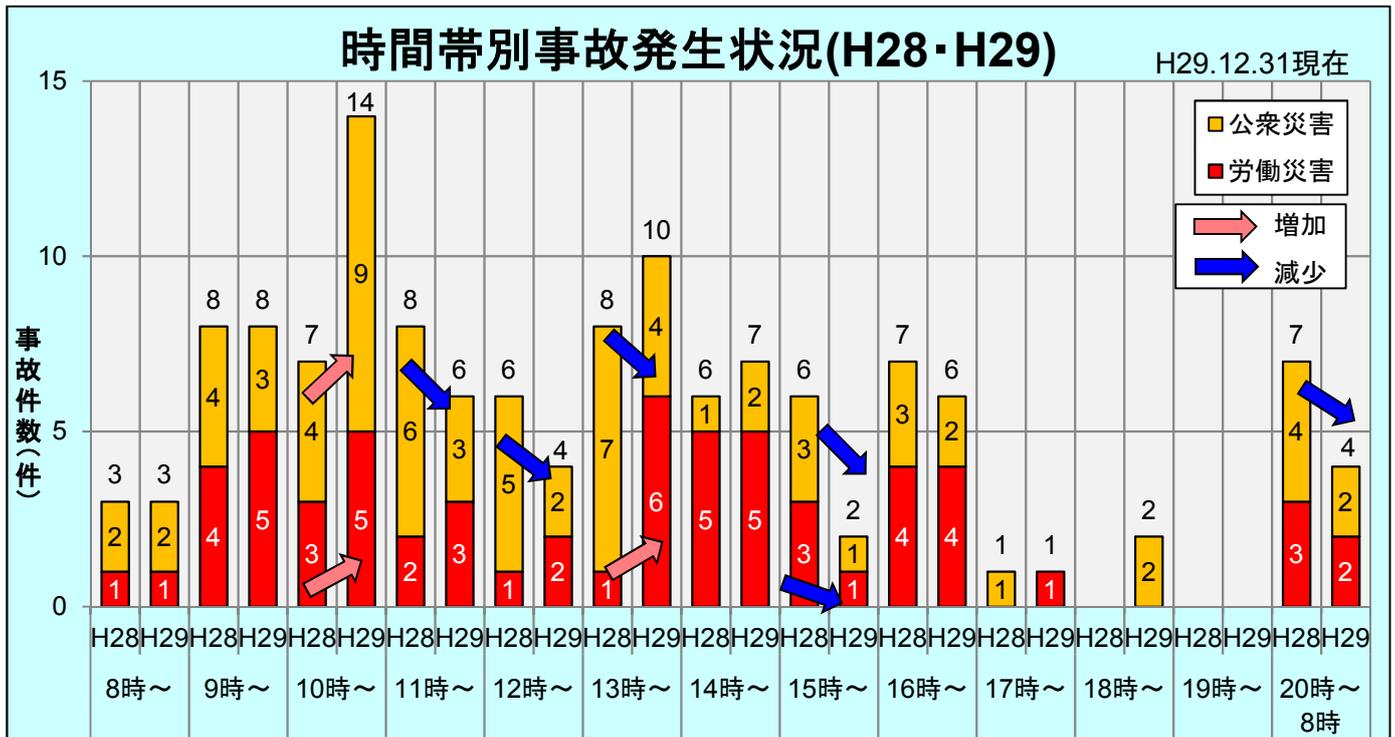
4) 月別の事故発生件数

H28年とH29年の月別事故発生状況を比較すると、労働災害、公衆災害ともに7月、10月、12月で増加しています。(7月：熱中症3件、発動発電機の流出4件、10月：建設機械等の転倒2件、12月：車両損傷等2件)



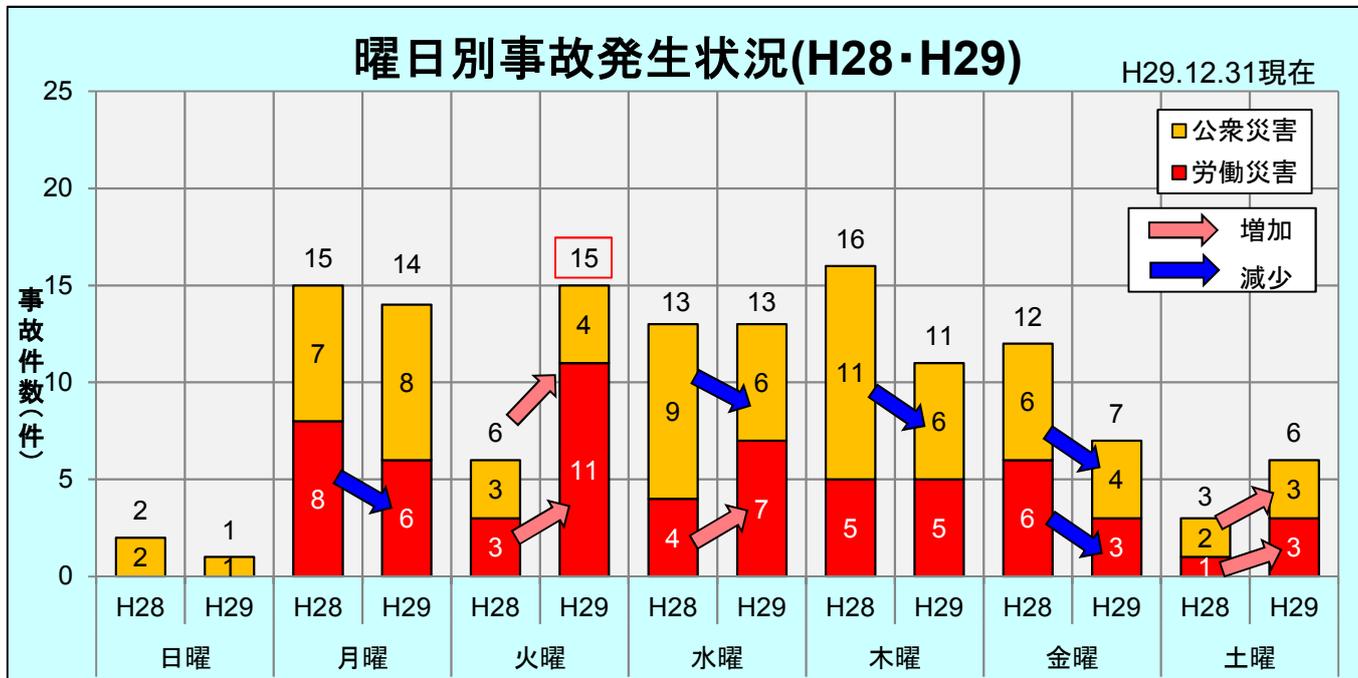
5) 時間帯別の事故発生件数

H28年とH29年の時間帯別事故発生件数を比較すると、労働災害は10時、13時台で増加し、公衆災害は10時台で増加しています。



6) 曜日別の事故発生件数

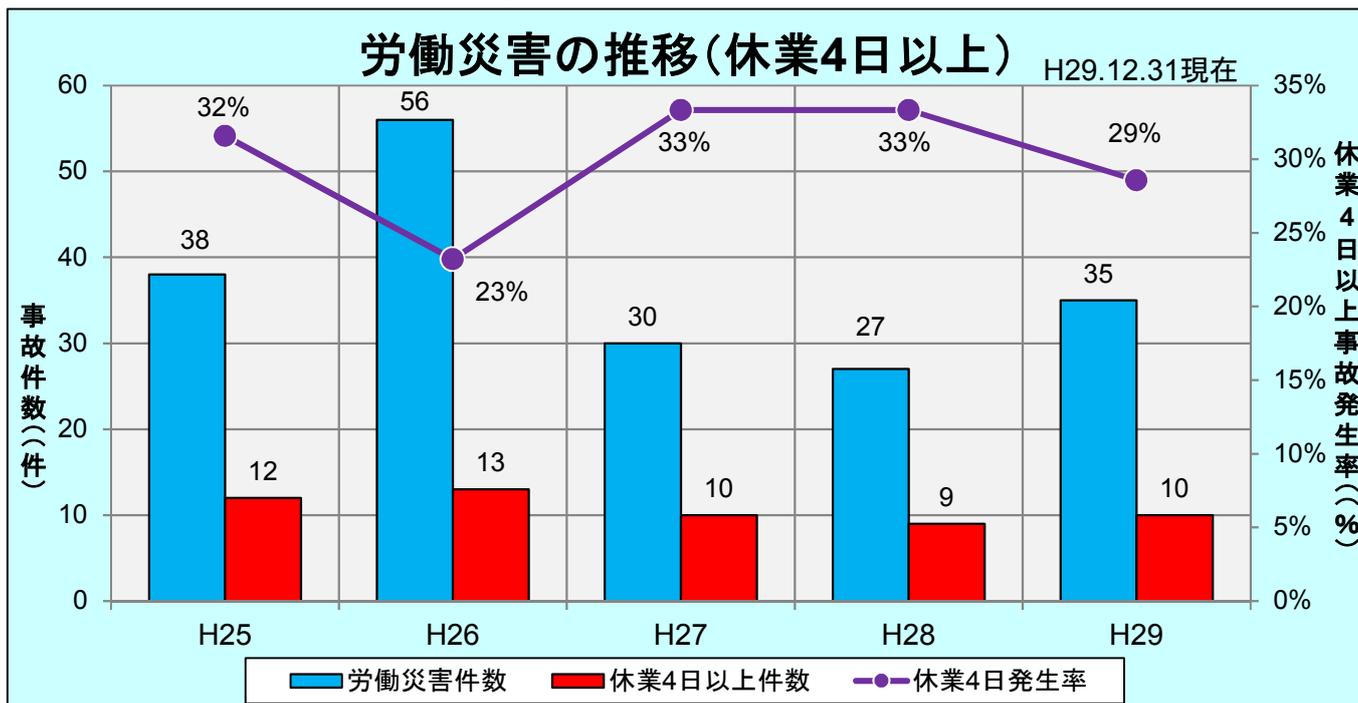
H29年の曜日別事故発生件数では月曜～木曜の発生件数が多くなっています。H28とH29の時間帯別事故発生件数を比較すると、労働災害は火曜、水曜、土曜で増加し、公衆災害は火曜、土曜で増加しています。



2. 労働災害の発生状況

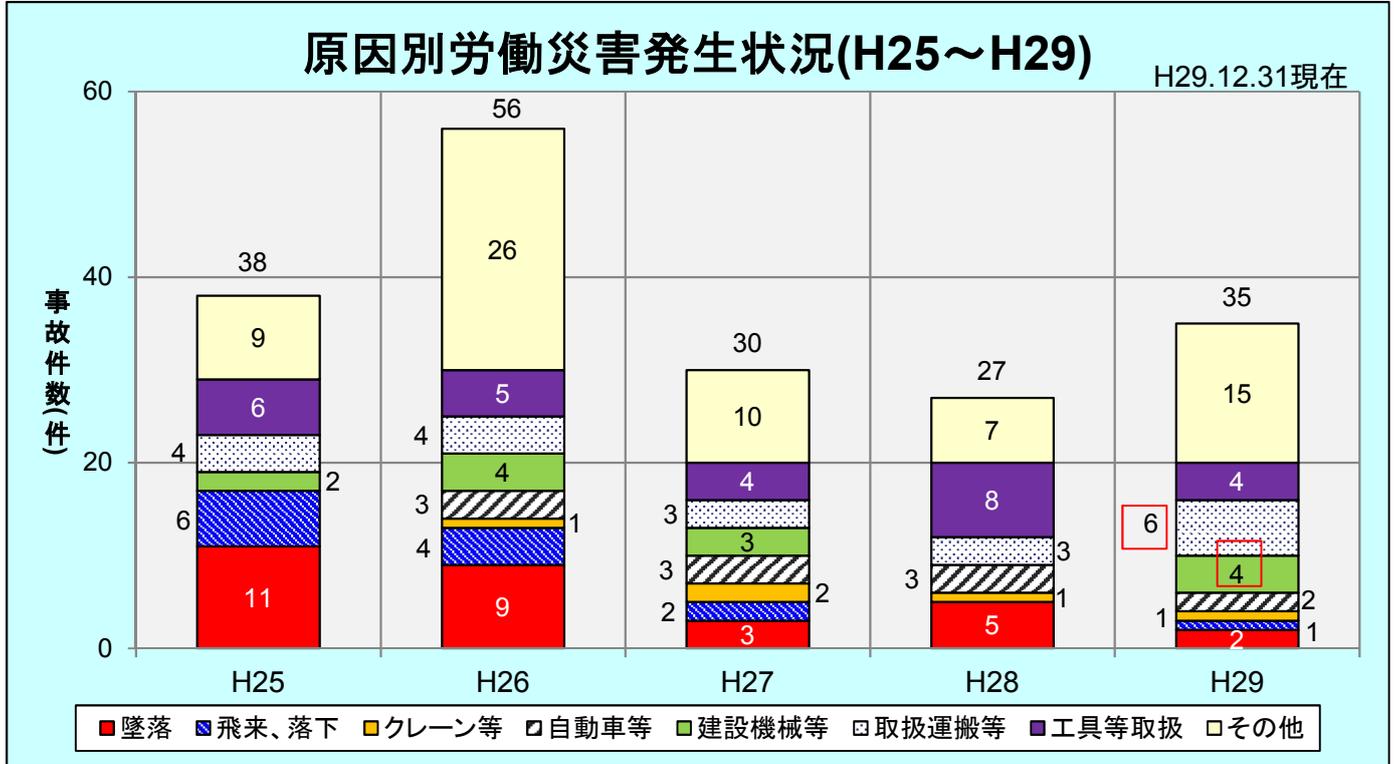
1) 休業4日以上事故発生状況

H29年の労働災害は35件、休業4日以上事故は10件発生し、昨年よりも労働災害は8件増加、休業4日以上事故は1件増加しています。また、労働災害に占める休業4日以上事故発生率は29%となっています。



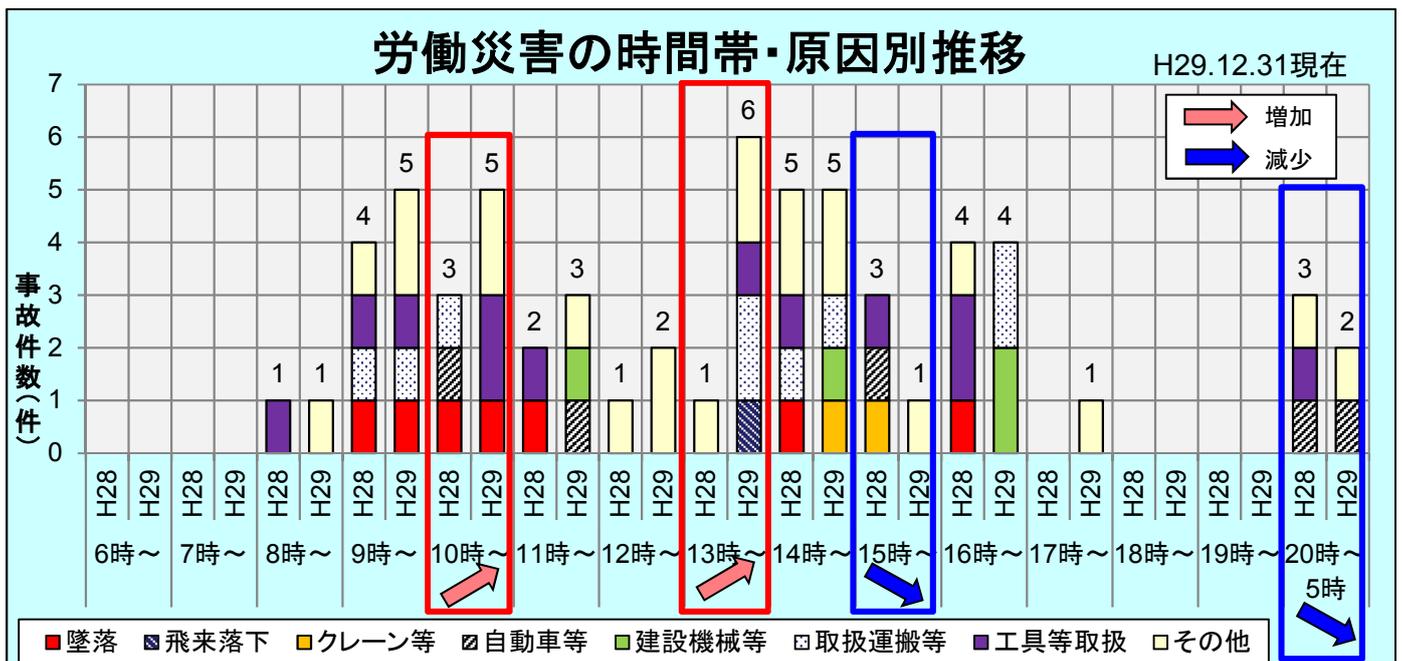
2) 労働災害の原因別事故発生件数

H29年の労働災害を原因別で比較すると、建設機械等（0件→4件）、取扱運搬等（3件→6件）が原因の事故が増加しています。その他の事故として、熱中症等4件、スズメバチに刺され3件、転倒2件となっています。



3) 労働災害の時間帯別・原因別の詳細分析

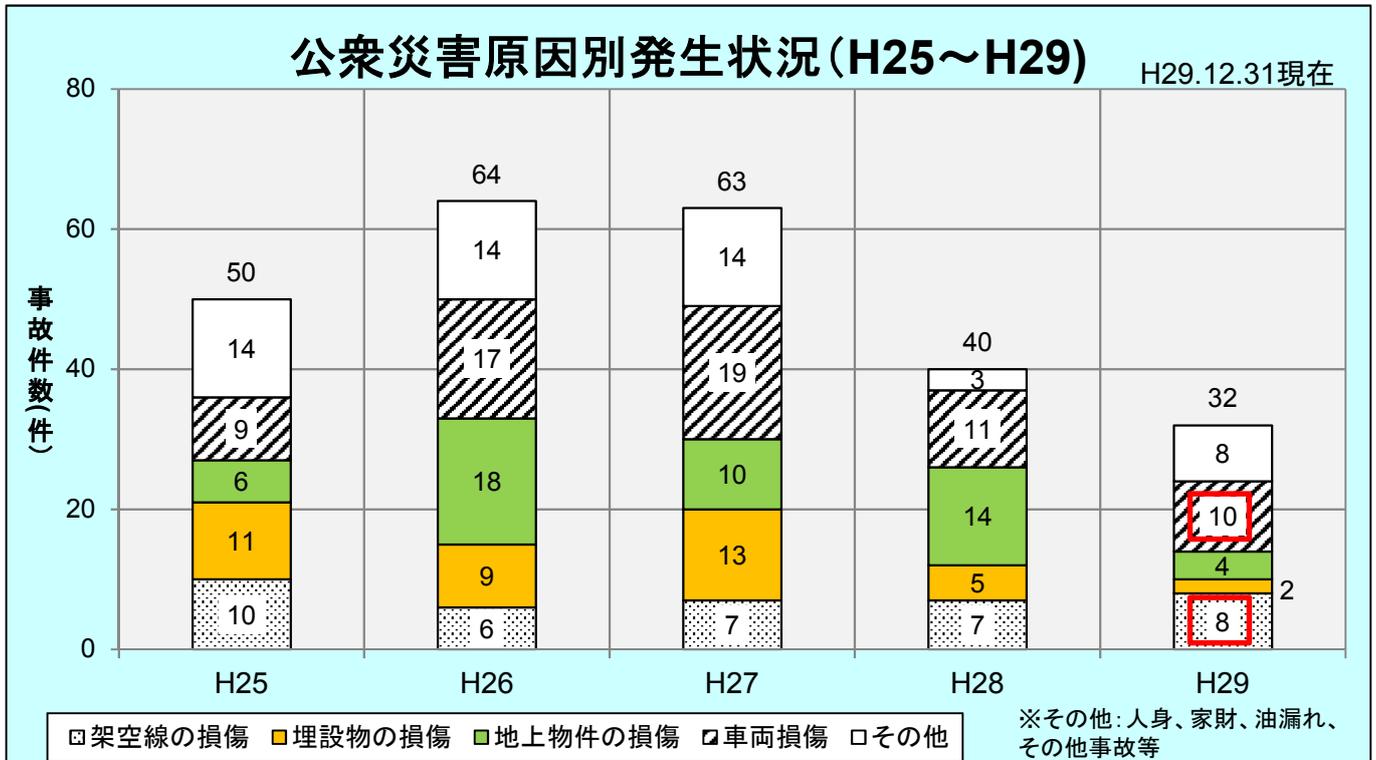
H28年とH29年の時間帯・原因別で比較すると、件数の増加している10時台では工具等取扱が増加、13時台で飛来落下、取扱運搬等、工具等取扱の事故が増加しています。



3. 公衆災害の原因別発生状況

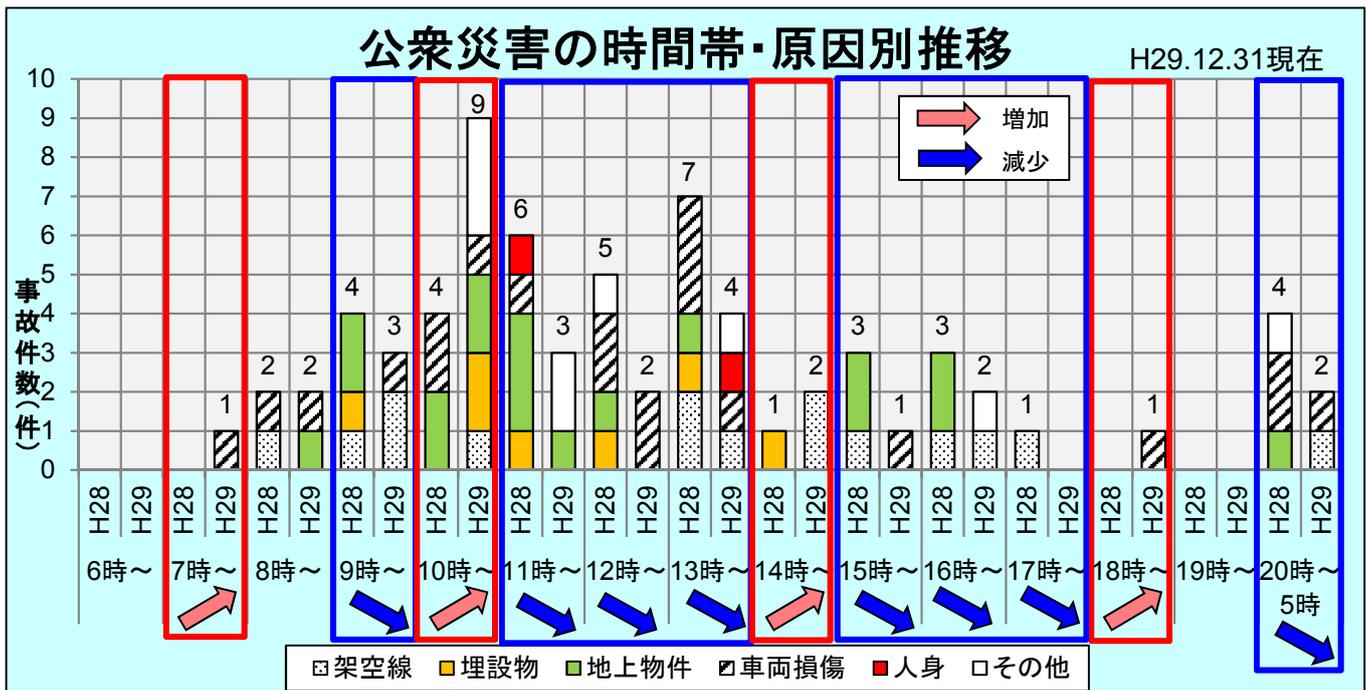
1) 公衆災害の原因別事故発生件数

H29年の公衆災害の原因別発生状況は、架空線の損傷、車両損傷による事故が多く発生しています。



2) 公衆災害の時間帯別・原因別の詳細分析

H28年とH29年の公衆災害の時間帯・原因別を比較すると、時間帯は10時台の事故件数が5件増加（埋設物2件、架空線1件）しています。また、7時台、14時台、18時台で事故件数が増加しています。



4. その他

北陸地方 3か月予報 (H30.1.24新潟地方气象台 発表)

<予想される向こう3か月の天候>

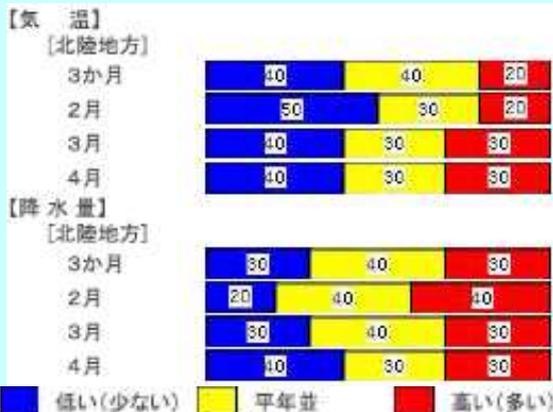
向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。この期間の平均気温は、平年並または低い確率ともに40%です。

2月 平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。

気温は、低い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

3月 天気は数日の周期で変わるでしょう。

4月 天気は数日の周期で変わるでしょう。



建設工事事故データベース(SAS)への登録をお願いします。

・地方整備局、都道府県、政令指定都市、機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事務防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。

・**休業4日以上**の建設工事事故について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。

・「事故発生状況調査書」は、技術管理課検査係で登録し、受注者への事故番号、パスワードを主任監督員へ通知します。



ホームページ: <https://sas.hrr.mlit.go.jp>

・登録対象となる事故

分類	事故の定義
労働災害	工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。
もらい事故	工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、休業4日以上を負傷をいう。
負傷公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。 なお、ここでいう第三者の負傷とは休業4日以上もしくはそれに相当する負傷をいう。
物損公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあって、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。

※ 工事区域: 工事業現場内及び隣接区域

・平成29年11～12月に開催した「平成29年度 工事の生産性向上等説明会(後期)」の説明資料を北陸地方整備局のHPに掲載しています。工事事務関係の資料は、資料5「工事事務の発生状況」でご確認ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/seisan_29kouki.html>

【問い合わせ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 神田

TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861